学校番号	3006

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　世界史Ａ」（帝国書院）						
副教材等	「最新世界史図説　タペストリー」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史を興味深く学べるように工夫する。
・今ある出来事が、過去の歴史的事象と大きく関連することを理解する。
・資料集を積極的に活用して、地理的な視点も養えるように工夫する。

２　学習の到達目標

・新聞記事を含め、諸資料に親しみ、基礎的な歴史知識を身につける。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点から考察する力を培う。
・日本の外交に目を向けながら、近隣諸国との残された課題を列挙し、未来志向で解決策を積極的に模索する。
・就職活動で取り上げられる「一般常識」問題にも対応できる力をつける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心に関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する人としての責務を果たそうとする。	世界の諸課題を歴史的観点から考察し、現代に至る国際社会の変化を踏まえ公正に考え判断しようとし、それを適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料〈新聞記事を含めて〉収集し、有用な情報を取捨選択して、読み取ったりレポートにまとめる。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な用語を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業プリントでのアンケート・発言 定期考査などでの自ら考え意見をまとめる作業など	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	前近代の諸文明	・東アジア・南アジア ・東南アジア・西アジア ・イスラーム ・ヨーロッパと南北アメリカ	○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○	a：授業プリントなどを用いて、世界各地の歴史に関心を持つ。現代につながるよう、地理的な知識も踏まえて、身につける。 b：考察を表現する c：収集した資料から課題の探求に活用している d：内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント 発言
一学期期末	一体化に向かう世界 欧米の市民革命	・大航海時代 ・ヨーロッパ諸国 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a： 授業プリントなどを用いて、世界の歴史に関心を持つ。大航海時代に始まる世界の一体化の流れを理解する。現代につながるよう、地理的な知識も踏まえ身につける。歴史上の宣言文書を通し、市民革命の動きの基本的知識を身につける。 b：考察を表現する c：収集した資料から課題の探求に活用している d：内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント ワークシート 発言
二学期中間	自由主義・ナショナリズムの進展 ヨーロッパとアジアの諸革命	・産業革命 ・1848年の革命、その他19世紀のヨーロッパ世界 ・ロシアの拡大と改革 ・オスマンとムガル帝国 ・日清・日露戦争 ・孫文と辛亥革命	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：１９世紀から２０世紀初頭にかけての、市民革命の浸透と拡大、またアジアでの反植民地闘争について探求する。その中で日本はどうであったのか、日本史での学習を生かし、日清戦争と日露戦争を核に理解させる。特に中国の革命は、日本と関係も含めて学習する。 b：考察を表現する c：収集した資料から課題の探求に活用している d：内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント ワークシート 発言

二学期期末	現代社会の芽生えと世界大戦	・帝国主義 ・第一次世界大戦 ・戦間期の世界 ・世界恐慌 ・満州事変・日中戦争 ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：世界を分割する帝国主義を学ぶ。列強の分裂がバルカンの発火から第一次世界大戦になったこと、戦後の国際協調の空気などにつき、基本的知識を身につける。だが恐慌から日独伊が軍国主義の道をとり、国際連盟が戦争を抑止できずに第二次世界大戦が始まってしまった課程を探求する。日本にとって、戦争を回避できる道はあったのか。 b：考察を表現する c：収集した資料から課題の探求に活用している d：内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント ワークシート 発言
三学期　学年末	冷戦終結と新冷戦 冷戦から地球社会へ	・戦後と冷戦構造 ・第三世界の台頭 ・冷戦終結と変わる世界 ・地球的課題と解決努力	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a：ヤルタ会談に始まる東西冷戦構造について押える。植民地からの独立を果たしたアジアアフリカ諸国の台頭や、１９８９年からの冷戦の崩壊などを、今現在の世界と結びつけて理解する。また急速に進行しているグローバル化の意味を学び、環境問題や貿易問題、移民問題など地球的課題の所在を把握する。できれば、いかに解決していけるかを考える。 b：考察を表現する c：収集した資料から課題の探求に活用している d：内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント ワークシート 発言

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。